

# 第6回南白亀川流域委員会における 意見と対応状況について

## 意見と対応状況（1/3）

意見	対応状況
<p><b>(1)草刈りについて</b></p> <p>市町村から補助金が出て、年2回ぐらい除草作業している地区もある。（委員）</p> <p>地域が河川を管理していく環境が整っていることから、それをよりシステム化していったらどうか？（委員長）</p>	<p>（山武管内）地元と継続して除草契約実施中。</p> <p>その他地区についても、住民ボランティアによる草刈り・ゴミ拾いに関する地元への働きかけ等を実施中。</p>
<p><b>(2)ゴミ拾い等について</b></p> <p>老人会や婦人会で、年数回、ゴミ拾いをしている。そういう団体の代表の方とかに作業部会に入ってもらってはどうか？（委員）</p> <p>その方たちの意見がうまく作業部会に伝わるようなシステムをつくってほしい。（委員長）</p>	<p>上記、草刈り同様。</p> <p>継続して働きかけをしていくとともに、実施状況を作業部会にてモニタリング。</p> <p>河川アダプト制度の適用を検討中。</p>

## 意見と対応状況（2/3）

意見	対応状況
<p><b>(3)水質浄化について</b></p> <p>水質浄化、ヘドロ減量策として、EM菌を活用してみてもどうか。（委員）</p> <p>賛否両論あるので、実施事例を見ながら考えていくべき。（委員長）</p>	<p>EM菌については、賛否両論があるため見送り。継続して水質のモニタリングを行うとともに、流域市町村の水質対策の実施状況のモニタリングを実施。</p>
<p><b>(4)地盤沈下について</b></p> <p>流域の地盤沈下問題について、国レベルの問題である。（委員）</p> <p>河川の側から一方的に、地盤沈下により安全度が下がるからというだけのものではない。行政の方で、より広い視点での検討が期待される。（委員長）</p>	<p>千葉県 環境基本計画に沿って、対応に努めていく。</p>

## 意見と対応状況（3/3）

意見	対応状況
<p><b>(5)法面保護について</b></p> <p>河川改修時に、リュウノヒゲによる法面保護等を考えるべき。（委員）</p> <p>部会の方で、どういう場所に何をするという具体的な案を検討していただきたい。（委員長）</p>	<p>現在、施工中の区間については、原則、多自然川づくりを実施中。</p> <p>今のところ人工的な植栽ではなく、自然に生える植生に任せている。</p>
<p><b>(6)啓発について</b></p> <p>「南白亀川をきれいにする会」では小学生達書いたポスターを、大網白里町の玄関に飾っている。（委員）</p> <p>そういうものを広めて認識を高めていくという「啓発」は重要（委員）</p> <p>川の大切さ、川の楽しさを社会にアピールして、みんなが川をきちんと考えていこうということに役立つ。ぜひ作業部会で、可能性をご検討いただきたい（委員長）</p>	<p>県、及び市町村の実務担当者を対象とした、今後の河川整備に関する勉強会を開催。また、地元の教育関係者等を対象に、今後の河川整備のあり方、地元住民の川づくりへの関わり方等に関するディスカッションを開催。</p>